



3月議会定例会

平成30年度一般会計当初予算は

総額32億円

(前年度比3.8%減)

平成30年度3月議会定例会が、3月7日から16日までの8日間にわたり開催され、条例の制定や一部改正、町有財産の無償貸付、平成30年度各会計当初予算案等39議案が提案され、いずれも可決されました。

平成30年度一般会計当初予算の総額は32億円で、前年度の大型事業（旧清掃センター解体・藤琴二ツ井線道路改良工事）が終了したことにより1億2,700万円（3.8%）減の予算となっています。

行政報告

◆新年度予算について

国の財政は、国・地方の債務残高がGDP（国内総生産）の2倍程度まで膨らみ、なお更なる増額が見込まれ、国債が毎年度一般会計歳出総額の2割以上を占めるなど、依然として、厳しい状況にあります。政府は、引き続き「経済再生なくして財政再建なし」を基本とし、基礎的財政収支の黒字化の目標を堅持しつつ、財政健全化への着実な取組を進めながら、アベノミクス「新・三本の矢」に沿った施策の推進や、重要な政策課題について、

必要な予算措置を講じるなど、メリハリの効いた予算編成を目指すとしております。

地方財政においては、地方が子ども・子育て支援や地方創生、公共施設等の適正管理に取り組みつつ、安定的な財政運営を行うために必要となる一般財源総額について、平成29年度地方財政計画の水準を下回らないよう、実質的に同水準を確保することを基本として地方財政対策を講じることとしております。

本町の平成30年度当初予算については、こうした国の動向を踏まえ、「町づくり計画」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」「過疎地域自立促進計画」を基本に据え、今後も続くことが危惧される厳しい財政事情の中、引き続き財政健全化に取り組み、限られた財源の中で創意工夫を凝らし、人口3,500人の行政規模を追求した効率的で効果的な施策、事業を実施することを目標に編成しております。

行政の更なる改善と、財政基盤の確立強化とともに、住民のニーズに対応した

歳入

【予算規模：32億円】

(単位：千円)

